

4. 六ヶ所再処理工場操業停止により派生するコスト — 発電所廃棄物の搬出先の喪失 —

- 定量的な影響

- 廃棄物の受入れが拒否された場合、別の地域に別途施設を建設しなければならない。

定量的評価

| 項目 | 金額 | 備考 |
|-----------------|---------|-------------|
| 発電所廃棄物埋設施設の建設費用 | 1,400億円 | 六ヶ所埋設施設の建設費 |

- 定性的な影響

- ・新規立地点の選定、搬出先がなくなった状態での構内貯蔵施設建設は難航が予想される。
- ・建設費のほかに立地・用地取得にかかる費用が発生。
- ・埋設済廃棄物の引取りを要求されることも考えられ、その場合は、埋設済廃棄物の掘返し・搬出・輸送費用が必要。
- ・新規埋設施設建設には一定の期間を要する一方、発電所構内貯蔵施設が逼迫している発電所が多く、たとえば原子炉が停止していたとしても追加工事等の実施に支障がある。

10

4. 六ヶ所再処理工場操業停止により派生するコスト

— 海外返還廃棄物の受入れ困難 —

- 英・仏での再処理に伴う廃棄物の返還については、英仏と日本の政府間で速やかな返還に支障がないようにする旨の外交文書を交換している(仏では仏国内法違反)。

- 他方、六ヶ所再処理工場が堅持されなければ、青森県は立地基本協定を踏まえて返還廃棄物の受入れを拒否する可能性が強い。

- したがって、六ヶ所再処理工場の停止が求められた場合、英仏からの返還廃棄物の受入れはできなくなる可能性が強く、日本と英仏間の外交問題に発展する可能性がある。